

第1回

オンライン
(Zoom Webinar使用)

とちぎ空飛ぶクルマ 開発促進セミナー

参加
無料

国内では、2025年大阪・関西万博における「空飛ぶクルマ」の活用に向けて、技術開発や利活用、環境整備の検討が進められています。空飛ぶクルマは、物流、娯楽・観光、災害現場での利用や離島・山間部の「移動」に関する課題の解決等、様々なケースにおける活用が期待されています。そこで、空飛ぶクルマの開発動向や将来展望、また、航空機関連サプライヤーから空飛ぶクルマの開発に参入した企業の取組等をお話いただくセミナーを開催いたします。参加費は無料です。ぜひ、積極的にご参加ください。なお、本セミナーは栃木航空宇宙懇話会の月例研修会と共同での開催となります。

令和4(2022)年

日時

9月6日 火 15:00-17:00

第1部

15:10~

「空飛ぶクルマ (eVTOL) の最新動向と日本での展望」

講師:中井 佑 氏
(テトラ・アビエーション株式会社 代表取締役)



(講師プロフィール)

東京大学博士課程在学中に一人乗りの「空飛ぶクルマ」の国際開発コンテストGoFlyに応募し、2018年6月1次審査のデザインで上位10名に選ばれ賞金獲得、起業。2020年2月GoFlyFinalFlyoffにて唯一の賞金獲得。現在も資金調達を行ないながら、100kmを30分で移動する空飛ぶクルマを開発し、2021年7月から予約販売も開始。

第2部

16:00~

「空飛ぶクルマ」の開発に参入した航空機関連企業の取組

「CFRPなど特殊素材で開発する次世代Mobilityづくりへの挑戦(仮)」

講師:内田 敏一 氏
(株式会社UCHIDA 代表取締役社長)



「航空機部品製造メーカーによる空飛ぶクルマへの取組事例(仮)」

講師:千葉 竜太 氏
(株式会社吉増製作所 営業部長)



テトラ・アビエーション株式会社

テトラ・アビエーション株式会社は、2018年6月に設立された一人乗りの航空機（パーソナルeVTOL:いわゆる空飛ぶクルマ）を開発するオールジェンダー、オールネーションのスタートアップです。2023年の機体販売や2025年頃に2地点間移動サービスを提供し、世界中で移動革命を実現します。

米国Boeing がスポンサーを務める国際eVTOL開発コンペGoFlyで、103カ国、850社以上の競争の中を勝ち抜き、唯一賞金を獲得しました。GoFlyでは、機体の技術面だけでなく、安全性、静粛性、そしてデザインの観点から総合的に評価されました。Boeing, Pratt & Whitneyから表彰を受けており次世代航空機に求められる軽量かつ安全な設計を、シミュレーション・実験の双方から分析し、実現できます。

日本では経産省・国交省と共に官民協議会に参画し、技術と法律の両側面からマーケットを構築すべく邁進しています。一方で、FAA（米国、連邦航空局）から、日本企業としてはじめての、また唯一の認定を取得するなど、国際マーケット開拓を積極的に取り組みつづけながら、新たなモビリティ産業を担います。



株式会社UCHIDA

1968年創業以来、複合材料を通じて造形物や最先端Mobility、研究開発など幅広いものづくりに携わっている企業です。特にCFRPを用いた試作品から少量多品種の生産によって「高精度、高耐熱、高品質」を提供することにこだわり続けています。これからも持続可能な環境へ配慮する取り組みを積極的に推進し、理念と共に世の中に求められるモノづくりを通じて社会へ貢献してまいります。



株式会社吉増製作所

1956年の設立当初から一貫して航空機部品を生産しています。

航空機に求められる厳格な工程管理や品質要求の中で培われた技術力が最大の特色です。

材料購入から機械加工、熱処理を含めた一貫生産できることが強みです。

航空の国際認証であるNADCAPも4つのカテゴリで取得しています。



別紙「参加申込書」に必要事項をご記入の上、9月1日(木)までにメールでお申込みください。

お申込み

TASC会員の方は、以下URLの申込サイトからもお申込みいただけます。

<http://www.tasc-tochigi.com/event-moushikomi.html>

(申込サイト受付期間は、8月22日(月)～9月2日(金)です。)

お問合せ

栃木県産業労働観光部 工業振興課 ものづくり企業支援室(担当:富澤)

E-mail:kouku-uchu@pref.tochigi.lg.jp TEL:028-623-3249

主催

栃木県・とちぎ航空宇宙産業振興協議会・栃木航空宇宙懇話会